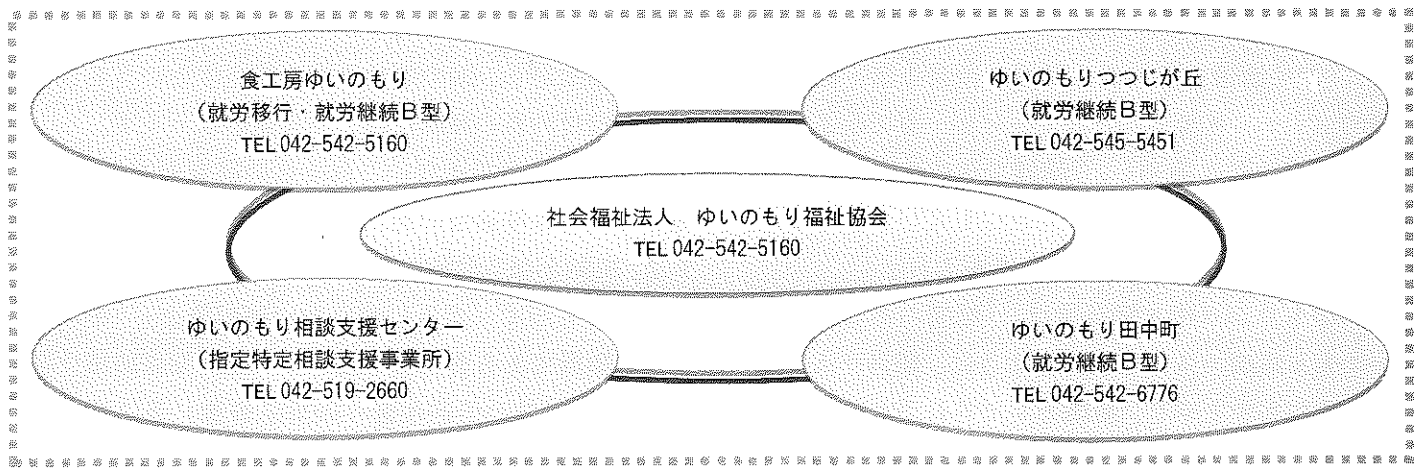


ゆいのもり通信



所在地：〒196-0011
東京都昭島市上川原町1-9-15
電話：042-542-5160



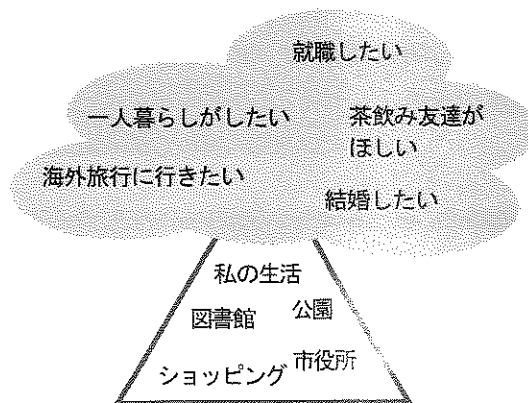
2015年4月より「ゆいのもり相談支援センター」を開設しました

あなたは、どのような生活をめざしていますか？
相談支援センターでは、お住まいの近くでいろいろなサービスを利用することで、自分らしい生活が実現できるように応援します。あなたの生活に対する意向や希望をうかがいながら、福祉サービスの利

用計画づくりをお手伝いします。
福祉以外でも、市内の様々な資源を利用することも一緒に考えます。

○大切にしていること

- ①利用者の意思を尊重します
- ②利用者のニーズと生活目標を大切にします
- ③サービスの利用計画は、話し合いのうえで決めます
- ④関係機関との連携・調整を行います



ゆいのもり福祉協会 活動報告会 2015年10月31日(土) 午後2時～ 昭島市役所1階 市民ホール

新しく開所した「ゆいのもり相談支援センター」の紹介をはじめ、今回は“つながり”をテーマとして、ゆいのもりの活動をお伝えしたいと思います。ぜひご参加ください。

産業祭・フードグランプリに出店します！ 2015年11月14日(土) 15日(日) (食工房ゆいのもり)

今年も昭島産ブルーベリーを使った、フルーツ感たっぷりのお菓子を出品予定です。乞うご期待、前回2位よりワンランクアップを目指します！



* 目次 *

相談支援センターを開設しました	1
理事長のメッセージ	2
職員配属一覧	2
2015年度新人職員紹介	3
特集ページ「自分らしく暮らすために」	4
法人・各施設報告、就労支援報告	6
ゆいのもりとともに歩む・寄付報告	8
2014年度事業・収支状況報告	別紙

自分らしく安心して暮らし、働ける地域づくりを目指して！

理事長 池田正

日頃より「ゆいのもり福祉協会」の運営に、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

● ゆいのもり利用者 150 名のみなさん！

各事業所が持っている特色ある作業メニューを通じて、「働く習慣」や「対人関係・社会生活・職業の基礎的マナー」等焦ることなく、一步一步でかまいません、利用日数を増やし、「継続できる体力・気力」を養い、より高い工賃にチャレンジしていきましょう。

● ゆいのもり職員 47 名のみなさん！

ゆいのもりが目指す職員像は、「障害のある人が、ゆいのもり組織の主体となれるように、職員一人ひとりが、やりがいを感じ、組織としてそれぞれの役割を果たせる職員である」か、常に自問自答してください。

利用者の障害および病気に対し理解し、ともに歩み、ときにはさりげなく見守り、ともにその回復を喜ぶ。またわるい時は一緒に考え、冷静に対処できる力を磨いてください。

ゆいのもりが社会福祉法人になって 13 年を迎えます。そろそろ個人商店から組織としての名実ともに法人に脱皮できる、いい時期と考えています。

平成 18 年以降の障害者自立支援法、平成 25 年からの障害者総合支援法の施行により、その新体系事業を、少ない準備期間の中、好機を逸すことなく、それなりの水準で給付申請することができました。

しかしながら、国の福祉予算の重点化という名目のなか、給付内容の減額化は、不可避のようです。

あまり楽観視できないこれからの経営環境のなか、地域の精神保健福祉の拠点として、責任あるゆいのもりは、根拠となる財源の確保をより透明化・明確化し、計画性をもって「借入に頼らない運転資金」「ゆいのもりの象徴である食工房建屋の中（長）期修繕積立金の確保」「職員の処遇改善への対応資金」等に耐えられるようなスリムで強じんな財政基盤の構築に専念していきます。

そのなかで、待ったなしの地域の精神保健福祉の対応が 2 事例発生しました。

長年の懸案事項であった指定特定相談支援事業所（ゆいのもり相談支援センター）の設立問題です。利用者が、障害福祉サービスを受ける際、最初に計画相談支援する機関をいいます。

これに基づき、市から「福祉サービス受給者証」が

2015 年 9 月時点職員配属一覧

食工房ゆいのもり

■常勤職員■

嶋田敦子（施設長）
日向弘樹（主任）
黒木まゆ美 岩波悦子
末永侑 宮崎言葉

◆嘱託職員◆

澤邊美津子 岡本綾野

●非常勤職員●

宮尾久仁子 高橋庸子
吉田浩子 佐々木博
斎藤文子 堤孝子
森田伸 加藤恵子
小西孝 内沼栄子

ゆいのもりつつじが丘

■常勤職員■

吉田智子（施設長）
長島秀幸（主任）
奥田友子 松田亜侑
貫井知弥 半田潤路

●非常勤職員●

寺島廣司 富榮徳
小田智子 小谷野里美
嘉手納由貴
銭村辰夫 小沢忍
指田きみ子 長谷川三千穂
神山美津江

ゆいのもり田中町

■常勤職員■

田中彰（施設長）
安藤聡美（主任） 田中健（主任）
近藤貴代子 外山由佳

●非常勤職員●

小宮三紀子 皆川さおり
関根あずさ 井梅由美
斎藤弥生 西山雅秀

ゆいのもり相談支援センター

■常勤職員■

浅川勤（センター長兼
法人事務局長）

●非常勤職員●

久保稔



発行されますが、従前から、精神障害者に対する窓口機関は、「虹のセンター25」とあいぽっくにある「障害者相談支援センター」の2事業所が主に対応していたため、マンパワー的にオーバーフローが慢性化した状態でした。

ゆとりある計画相談をできる環境にするため、ゆいのもり利用者で、かつゆいのもりの計画相談を希望したいと考えておられる方々のために、今年の4月から事業を開始しました。

開設にかかるイニシャルコスト200万円は、ゆいのもり賛助会の寄付をおおぎました。当面の運営赤字補てん分は、3事業所が分担します。

来年の3月には、約30名のゆいのもり利用者が、計画相談登録者となる見込みです。

もうひとつは、市内のグループホームの経営・運営承継問題です。

精神障害者を対象に地域生活支援を行って、多くの経験と支援のスキルを積み上げ、70名余の精神障害者の地域定着支援を行い、19年間運営してきましたが、後継者不足から、運営承継のご要望がありました。

ゆいのもり中期計画の中で、「地域生活に必要な居（医）・食（職）・住のサービスを作りあげる」ことを行動計画の一つとしてきました。グループホームの運営承継は、ゆいのもりの力量が試される、よき試金石となるでしょう。

障害があっても人として尊重され、役割をもって生きていけるようにゆいのもりの一人ひとりが力をつくせることを期待しつつ、理事長のメッセージとします。



2015年度 新人職員 紹介

ゆう
末永 侑

(写真 前列左より1番目)

4月1日付で入職しました末永侑と申します。

工房でのパン作りやカフェ、清掃などでメンバーさんと一緒に働きながら多くのことを吸収し学ぶ毎日です。皆様どうぞよろしくをお願いいたします。



ことは
宮崎 言葉

(写真 前列左より2番目)

はじめまして、4月1日から入職しました。宮崎言葉と申します。趣味はネイルアートとカラオケです。

早く一人前になれるように一生懸命頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます！

じゅんじ
半田 潤路

(写真 前列右より2番目)

4月1日付で入職しました半田潤路と申します。前職でも作業所の職員をしていましたが心機一転1から学び直したいと思っております。微力ながら全力で頑張りますので皆様どうぞ宜しくお願いします。

自分らしく暮らすために ~上手に利用しよう、地域のサービス~

地域で暮らすための様々な仕組みができています。市内の様々な制度や施設、取り組みについてご紹介します。

相談する

相談したい、仲間を作りたい

- 相談支援事業所：サービス利用計画の作成・見直しの相談・支援。福祉サービスに関する情報提供や活用に関する相談・支援。
- 昭島市保健福祉部生活福祉課障害福祉係：福祉サービスや制度について相談ができます。
- デイサービスグループモモ：退院後に自宅の外に出るきっかけとしてレクリエーションの提供を行っています。

グループモモに参加して、カラオケが楽しかったです。ある程度、充実した毎日を送るために気分転換になりました。参加費が安いので経済的な負担が少なく、いいところだと思います。(Kさん、40代)

金銭管理の相談にのってもらったおかげで、節約するようになりました。(Mさん、40代)

働く

働きたい、働く準備をしたい

- 就労継続支援事業所
就労継続B型：作業を通じて生活リズムを整える等の支援を行います。作業には工賃が支払われます。
就労継続A型：雇用契約を結んで働くことで最低賃金以上の工賃が支払われます。
- 就労移行支援事業所：就労を希望する人に就労に向けた訓練や就職先を探してお手伝いをします。就職後は職場定着支援を行います。2年で就職を目指します。
- 就業・生活支援センター：就職のための情報提供、訓練施設、企業の実習先、定着支援などの就職相談・支援を行います。

フシ移行に登録したことで、働くという目標が強くなりました。工賃が増えていくのが嬉しいです。(Kさん、20代)

就職前も就職後も、仕事の悩みを聞いてもらいました。自分にとって就職を続けるのにとてもいい場所です。(Mさん、40代)

駅の駐輪場は手帳で無料になるので、作業所に通うのにいつも利用しています。(Iさん、60代)

昭島市内の映画館で割引サービスを受けられるので、たまに観に行っています。(Kさん、30代)



医療につながる

病気のことを相談したり、治療や休養

- 精神科病院・クリニック：病気の治療をしたり、相談ができます。
- 訪問看護：看護師等が生活の場へ訪問し、療養生活を支援してくれます。
- 都立多摩総合精神保健福祉センター：対人関係やこころの病でお悩みの方の相談ができます。
- 精神科デイケア・作業療法：リハビリテーション医療のひとつで、プログラムに参加することにより生活上の技術や対人関係の自信をつけることができます。

デイケアの通所は、生活リズム作りだと思っています。(Kさん、20代)

ヘルパーさんと世間話をしながら料理を作ることが楽しいです。(Oさん、60代)

暮らしを支える

暮らししていくのに困ったことを相談したい

- 居宅介護（ホームヘルプサービス）：ヘルパーが自宅を訪問し、家事援助・相談・助言を行います。
- 福祉事務所：生活保護等の相談をします。
- 共同生活援助（グループホーム）：1人暮らしを練習して、自立生活への応援をする施設です。
- 地域権利擁護：社会福祉協議会等が行うサービスの1つで、福祉サービスの利用手続きの補助や、日常的な金銭管理のお手伝い、支払い代行などの支援をします。

暮らしを楽しむ

毎日の生活に問いを！ 私たちが利用できる制度や施設って？

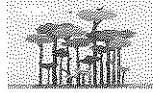
- 図書館：市内には図書館と2つの分館、2つの分室があります。本のほかに、CDも無料で借りられます。
- 宅配サービス：コンビニやファミレスで、食事の宅配サービスを行っているところがあります。美味しくてヘルシーなメニューがあります。
- 駐輪場：JRの駅の駐輪所は、手帳を見せれば無料で使用できる場所があります。
- スポーツジム：昭島市総合スポーツセンターは、屋内温水プールやトレーニング機器やランニングマシンのあるトレーニングルームなどがあり、障害者の個人利用は半額になります。
- 映画館：手帳を提示することで、割引で見ることができます。
- 公園：昭和記念公園や都内の主だった公園は、手帳を見せれば無料で利用できます。
- 交通機関：バスは、手帳を見せれば半額に割引がかかります。都営のバス・地下鉄は、乗車証の発行（無料）を受ければ、無料で利用できます。
- 携帯電話・スマートフォン利用料：各携帯電話会社が各社、障害者割引を実施しています。サービス内容はそれぞれです。

アドバイスをもらいながら一人暮らしの練習ができました。今は一人暮らしを満喫しています。楽しく話せる仲間も出来ました。(Oさん、60代)

家の近くの図書館で好きな歴史小説を借りて、喫茶店のコーヒー1杯でねぼって読むのが、私の日曜日の過ごし方です。(Hさん、60代)

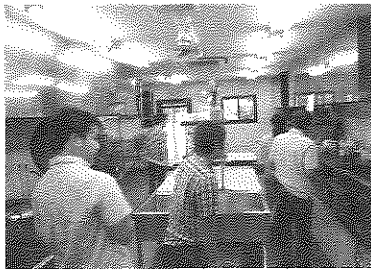
花の写真撮影が趣味なので、昭和記念公園や神代植物公園に時々行っています。手帳で無料になるのが嬉しいです。(Kさん、40代)

法人本部



○のびのび福祉会の3事業所見学○

2015年8月31日、作業種目が近いことから興味を持ち、江東区にある3つの事業所（作業内容—清掃・給食・製菓製パン）を見学に行きました。

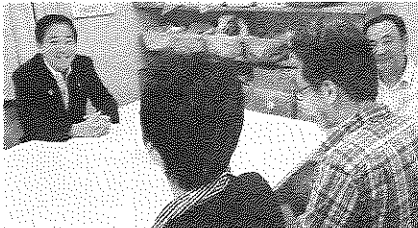


積極的な作業開拓と事業展開、障害特性に合わせたシンプルでシステム化された作業、高い月額賃金など、本当に良い刺激になり、元気をもらいました。

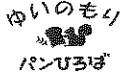
○長島昭久衆議院議員がゆいのもりを視察○

2015年8月25日、長島昭久衆議院議員によるゆいのもり福祉協会、食工房ゆいのもりの視察がありました。長島議員からは食工房のパンに対して「おいしいね」の言葉をいただきました。利用者の様子、社会福祉の財源問題、精神障害者の就労支援などが話題に上がりました。

館内をご案内した後は、利用者やパート職員も参加しての、ざっくばらんな話し合いとなりました。視察の最後に、池田理事長と浅川事務局長から、福祉施設の運営には財政的な困難もあるが、それよりも、全世界の精神科病床の約2割が日本にある現実をお話しし、精神科医療福祉の抜本的な改革に取り組んでほしい、とお願いしました。今回の視察を通じて、困難な状況にある人への力添えと理解が進むことを望みます。



食工房ゆいのもり



○昭島フードグランプリ、2位入賞!○

2014年11月8日、9日開催の第3回昭島ブランド・フードグランプリに出品した「Berry ハッピーチーズケーキ」が、スイーツ部門第2位に輝きました。皆様のご協力感谢您します。

○就労者を3名輩出、自立に向けて歩み出しました○

就労移行支援の利用者が、2014年度はサービス業に2名、就労継続A型事業所に1名、就職が決まり、自立に向けて歩み出しました。

○昭島市内や近隣でのパン販売を開始○

昭島市内や近隣の福祉施設等で、パンの販売を開始しました。現在毎週1回福祉施設で販売し、毎回完売で喜ばれています。

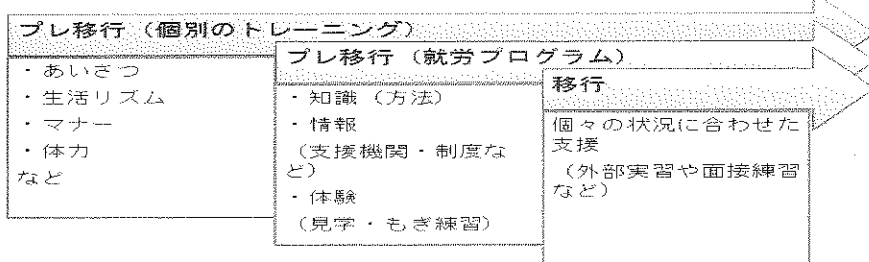
○缶バッチ作業など、軽作業で新たな受注先を開拓○

市内の企業、株式会社モノファクトリー様より軽作業の受託を開始しました。缶バッチやキーホルダーの作業を途切れなく受注し、午前、午後とフルに作業に取り組んでいます。



○プレ移行の取り組み

ゆいのもりでは、平成24年度から行っていた就労継続支援B型の段階から就職を目指してトレーニングをする独自の「プレ移行」の制度を平成26年4月よりさらに充実させて再スタートしました。具体的にプレ移行は下図の力をつけていくことが目標です。力が備わってきたら、就労移行に移り就職を目指します。



*田中町、つつしが丘のプレ移行メンバーは就労移行になる際、食工房に移籍します。
*プレ移行は1クール6か月、最長3年所属できます。

○就職者（ゆいのもり3施設）

（平成26年10月1日から
平成27年9月30日迄）

1名

○主な仕事内容

・飲食店の清掃



ゆいのもりつつじが丘



○日帰り旅行○

昨年の秋に台風で中止した、スカイツリーへのバス旅行を1月にリベンジしました！しかし、天気が悪くホワイトアウト状態で何も見られなかったのが、また行く予定です。

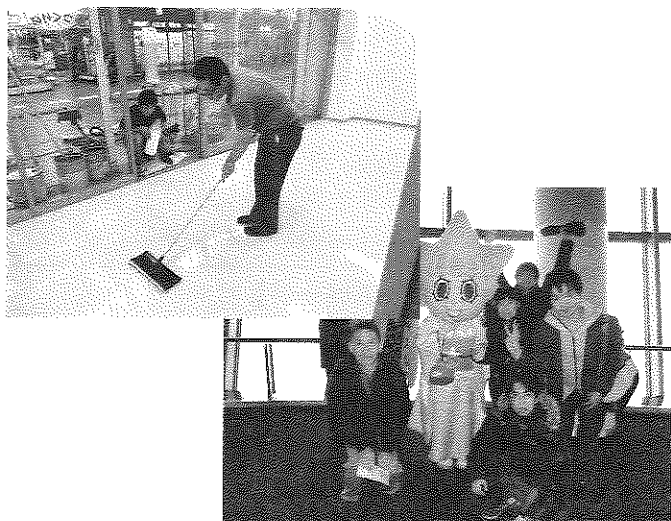
○プレ移行 第2期生○

男性1名が就職を目指すために、就労移行として食工房へ移籍しました。

○工賃 UPO

Wax 作業の現場や、田中町と合同で草刈りという作業が新しく増えたので皆さんの工賃が上がってきています！

お店のWax 作業↓



日帰り旅行↑

ゆいのもり田中町



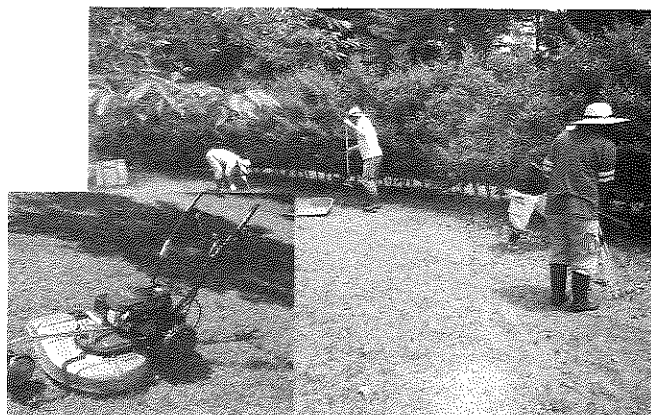
○世界遺産「富岡製糸場」に行きました○

12月の一泊旅行では、世界遺産に登録された富岡製糸場に行ってきました。田中町としては初めて9名もの利用者が参加して楽しみました。



○除草作業を始めました！○

昭島市から除草作業の委託を受け、多摩川河川敷等を刈払機・草刈機を使い行っております。



炎天下、機械で刈った草を集めています↑

○ゆいのもり就労移行支援5年、プレ移行2年○

本格的にゆいのもりで就労移行支援を始めてから早5年が経過しました。就労支援はどのようにしていくのか、どのようなプログラムを提供できるとよいのかなどと日々悩み、検討するところから始まりました。5年が経過し、就労するためには、就労継続支援B型で、生活面の安定や日々の訓練等一定程度、積み重ねていくことが必要と学び、独自の取り組み「プレ移行」を取り入れました。プレ移行で、就労準備性を高めて、ある程度の段階で就労移行へ、そして就職へという道のりが少しずつ出来つつあります。今後も日々変化

する利用者のニーズや制度に対応できるように就労支援に取り組んでいく所存です。

■就労トレーニングの場について

就労トレーニングの場として、市内の高齢者施設で半年以上パン販売をさせていただいております。外部販売により必要なマナーや対人スキル、就労準備性スキルの向上などが含まれていると思います。訓練の場として環境を提供していただけていることに感謝の意を表すと共に先行的な地域支援プログラムが地域のネットワークを通じて生じていることも皆様にお知らせいたします。

食工房ゆいのもり 就労移行担当 日向弘樹

ゆいのもり社の思い出

Mさん（ゆいのもり社開設当初のメンバー）

最初の共同作業所「ゆいのもり社」の設立当初のメンバーであったMさんにお話をお聞きしました。

■今はどのようにお過ごしですか。

65歳になりました。ゆいのもりで知り合った友人Oさんの食事作り、通院の手伝いをしながら暮らしています。月25,000円ずつ出し合って食事をつくります。ステーキを食べられることもあります。やはり元ゆいのもりメンバーのYさんは運動がてら一日3回顔を出してくれます。大みそかには必ずKさんが寄ってくれます。Kさんは頑張っている。月1回の「屋台や」¹⁾が楽しみです。使うのは1,000円位ですが、困るのは、歩く体力がなくなってきたことと薬の影響か、歩くと頭がぐちゃぐちゃとなることです。薬は怖いですね、変えるとどうなっちゃうのかと心配です。

■開所当時のゆいのもり社を覚えていますか。

ゆいのもり社の母体となる昭島保健相談所の「たまり場」に初めて顔を出しました。（病気を抱えな

がらも一生懸命働いた様子を覚えています。浅川）ゆいのもり社ができた当初は、職員は2人だけで、職員もメンバーも試行錯誤の連続でした。特に規則もなかったの、自分自身でルールを作って、この範囲なら怒られないかなと考えながら作業所を利用しました。仕事後の一杯、時にはマージャンも、ゆいのもりで出会った友人たちと楽しみました。人が増えるに従い不自由な面も出てきました。

若い女性達と喫茶店に行ったのは楽しい思い出です。毎年泊りがけで、友人たちと三浦半島の民宿に美味しい魚を食べに行きました。友人たちの一部は今も月1回、食事会を続けています。

親しく特別の人と思っていたMさんがなくなったことは悲しい思い出です。火葬の場で生前縁遠くなっていたMさんの親類の方たちに生前の様子を伝えられたことは幸せでした。

これまで生活保護を始め様々なお世話になりました。恩返しとして献体をするにしています。

（7月23日、聞き手は浅川勤）

¹⁾ 屋台や 飲食店名

▼「ゆいのもり福祉協会」へのご寄付

- ・ 東京都共同募金会より
270,000円（食工房ゆいのもり）
220,000円（ゆいのもり田中町）
- ・ 食工房ゆいのもりで冷凍冷蔵庫を購入しました。新しくて大きな冷凍冷蔵庫をフル活用しています。
- ・ ゆいのもり田中町でパソコン教室用のパソコンを購入しました。

▼賛助会からのご寄付

平成26年度「ゆいのもり賛助会」から以下のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

- ・ 施設整備借入金返済のために 600,000円

今回の通信は、挿絵をゆいのもりメンバーさんに依頼いたしました。ご協力してくださった皆さま、本当にありがとうございました！



【ホームページ】

利用希望受入れ状況、職員募集、事業報告、決算、各事業所の製品の紹介が見られます。「ゆいのもり福祉協会」で検索してみてください。

◆ <http://yuinomori.or.jp/>



【ゆいのもり福祉協会 理事・評議員・監事 一覧】

（2015年9月1日現在）

池田 正（理事長） 指田金次 長瀬幸弘 久保 稔
吉村 謙 田中 彰 浅川 勤
（以上、理事兼評議員7名）

武田勝之 佐々木陽子 吉川訓子 高橋由美
島本 久 渡辺おりえ 佐々木雄平 笈川信之
荒井伸一郎 吉田智子 嶋田敦子

（以上、評議員11名）

野村三郎 須藤正勝

（以上、監事2名）

<編集後記>特集ページ「暮らしを楽しむ」を担当しました。いろんな制度が使えるんですね。（クロ）今号もたくさんの方に助けられて完成しました。（けん）通信編集のおかげでゆいのもりの全体がわかりました。（ばんだ）大変勉強になりました。ありがとうございます。（こっちゃん）やっと完成しました。みなさんにお届けできてよかったです。（ケセラセラ）

法人全体 重点目標	①工賃アップへの取り組み ②利用ニーズにこたえて利用者を受け入れる ③研修の充実（内部、外部） ④職員施設長面談等コミュニケーションの充実
法人本部 事業計画	（サービス向上）①利用受け入れ状況をホームページにて毎月掲示する ②指定特定相談支援事業所開設（安定経営）③社会保険労務関係業務委託開始 ④法人事務センター開始（人材育成）⑤内部研修の充実（その他）⑥情報提供同意書作成 ⑦福祉サービス第三者評価受審
法人本部 事業報告	①HPの定期更新、利用希望者へのサービスを向上 ②ゆいのもり相談支援センター開所（平成27年4月1日） ③社会保険関係業務と給与納税業務の委託 ④法人事務センターによる会計業務一元化 ⑤内部研修実施 ⑥情報提供同意書作成 ⑦福祉サービス第三者評価受審

活動内容	作業活動	パンカフェ作業、館内清掃、軽作業、事務業務、案内業務			
	その他	利用者ミーティング（月1～2回）、防災訓練、食品衛生および感染症の講座、等 就労準備性/生活スキル向上、パソコン教室、等 就職準備訓練や適応訓練への参加、就労プログラムへの参加ほか 日帰り旅行、一泊旅行、食事も、茶話会、昭島市チャレンジデー等			
事業計画	（サービス向上）①就労者の輩出2名以上 ②軽作業の日常の実施（安定経営）③就労移行登録者8名、就労継続B型48名を目指す（人材育成）④研修計画に基づく職員研修の実施 ⑤コミュニケーションの活性化（その他）⑥建物の大規模修繕（防水と屋根塗装）の準備				
事業報告	①就労者2名、A型事業所へ1名輩出 ②軽作業の午前午後実施、和室工事で作業場確保 ③就労移行最大6名登録、就労継続B型最大44名登録 ④外部研修に各自出席 ⑤全職員ミーティングや非常勤職員との意見交換会 ⑥防水と屋根塗装は次年度に検討を見送る				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労移行	6人	2人	740人	249日	3人
就労継続	34人	34人	5987人	249日	22人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額（A）	工賃支払者延べ人数（B）	平均月額工賃A/B
	12,606,527円		3,676,440円	487人	7,549円

活動内容	作業活動	昭島市保健福祉センター清掃、定期清掃（ワックス）、花壇管理、企業内作業、軽作業、牛乳パック回収、手作りのお店「ゆいのもり」（つつじが丘店）の営業			
	その他	食事づくり（火・木、1食250円1回20食程度）、ミーティング（保健福祉センター清掃/1か月1回、行事のミーティング/2か月1回）就労プログラム、外食、スポーツ、日帰り旅行、一泊旅行、いきいき健康フェスティバル等			
事業計画	（サービス向上）①安定してできる軽作業を開拓し作業時間を増やす。工賃アップにつながる作業（企業内作業や定期清掃）の開拓 ②プレ移行のメンバーを明確にし、移行を意識し支援する（人材育成）③研修への参加 ④新人職員の定着にむけての職員体制づくり ⑤施設長面談の実施（年2回）				
事業報告	①ちらし配り、企業内作業の日数増加、定期清掃の開拓により全体の工賃は増額した ②プレ移行のメンバー1名10月より社会適応訓練を実施、その後、食工房に送りだすことができた ③外部の研修だけでなく、「障害者権利条約」について内部研修を実施した ④主任が担当として指導した ⑤施設長と職員の面談を複数回実施した				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労継続	30人	57人	7054人	251日	28.1人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額（A）	工賃支払者延べ人数（B）	平均月額工賃A/B
	14,689,482円		4,791,673円	629人	7,618円

活動内容	作業活動	・喫茶作業 市役所1階喫茶森における接客、厨房作業、準備、片付け作業 ・お弁当作業 つつじが丘事業所へ販売 ・軽作業 箱折り、DM作業等 ・除草作業			
	その他	・パティシエクラブ 年3～4回のお菓子作りのクラブ活動 ・パソコン教室 週1回初心者クラスと就職準備クラスを実施 ・きこり会 月1回お茶を飲みながら、月ごとのテーマでお話をする会 ・メンバーミーティング 月1回作業と行事について話し合う。記録は交代でパソコン入力し通信を完成する。 ・就労プログラム 月1回 3施設合同			
事業計画	（サービス向上）①利用者工賃の増額を目指す（安定経営）②利用頻度の向上（1日19名）や受け入れ態勢の強化（人材育成）③研修計画に基づく職員研修の実施 ④コミュニケーションの活性化（その他）⑤事業の将来的展望についての検討				
事業報告	①工賃支払総額、平均月額工賃の増加 ②平均利用者数20.2名と目標をクリアした ③外部研修への参加があまりできず、サビ管研修・人権研修にとどまった ④施設長と全職員との定期面談（年2回）の実施 ⑤田中町構想会議を開始した				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労継続	20人	42人	4844人	240日	20.2人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額（A）	工賃支払者延べ人数（B）	平均月額工賃A/B
	10,379,086円		2,671,775円	423人	6,316円

2014年度 収支状況等報告一覧

貸借対照表 (平成27年3月31日現在) 法人名: 社会福祉法人 ゆいのもり福祉協会

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	116,260,914	97,913,525	18,347,389	流動負債	9,027,085	10,297,761	-1,270,696
現金預金	91,220,098	68,099,408	23,120,690	短期運営資金借入金		1,040,000	-1,040,000
事業未収金	23,599,138	27,822,522	-4,223,384	事業未払金	5,800,298	6,286,098	-485,800
商品・製品	308,862		308,862	1年以内返済予定設備資金借入金	1,040,000		1,040,000
原材料	797,396	796,005	1,391	預り金	2,186,767	2,310,983	-124,216
立替金	2,200	1,195,590	-1,193,390	仮受金		660,680	-660,680
前払費用	333,220		333,220	固定負債	1,634,145	3,221,420	-1,587,275
固定資産	234,943,448	239,802,981	-4,919,533	設備資金借入金	1,040,000	2,080,000	-1,040,000
基本財産	172,909,566	175,218,616	-2,309,050	リース債務	594,145	1,141,420	-547,275
土地	107,332,361	107,332,361	0	負債の部合計	10,661,210	13,519,181	-2,857,971
建物	65,577,205	67,888,255	-2,309,050	純資産の部			
その他の固定資産	62,033,882	64,644,365	-2,610,483	基本金	45,813,046	45,813,046	0
建物	13,371,090	14,210,770	-839,680	第一号基本金	45,813,046	45,813,046	0
車両運搬具	3,463,438	4,462,721	-999,283	国庫補助金等特別積立金	108,998,747	113,682,851	-4,684,104
器具および備品	5,920,669	7,078,434	-1,157,465	その他の積立金	36,100,000	35,500,000	600,000
有形リース資産	594,145	1,141,420	-547,275	その他の積立金	36,100,000	35,500,000	600,000
権利	152,880	152,880	0	次期繰越活動増減差額	149,631,359	129,261,428	20,369,931
投資有価証券	60,000	60,000	0	(うち当期活動増減差額)	20,969,931	30,160,389	-9,190,458
その他の積立資産	36,100,000	35,500,000	600,000	純資産の部合計	340,543,152	324,257,325	16,285,827
差入保証金	10,000	10,000					
長期前払費用	333,220		333,220				
敷金	1,098,140	1,998,140					
保証金	30,000	30,000					
資産の部合計	351,204,362	337,776,506	13,427,856	負債および純資産の部合計	351,204,362	337,776,506	13,427,856

事業活動内訳表 (自平成26年4月1日至平成27年3月31日) 法人名: 社会福祉法人 ゆいのもり福祉協会

勘定科目		合計	本部	食工房ゆいのもり	ゆいのもり つつじが丘	ゆいのもり 田中町	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	37,675,095		12,606,527	14,689,482	10,379,086
		障害福祉サービス等事業収益	160,716,906		61,769,860	56,507,001	42,440,045
		経常経費寄付金収益	88,000	88,000			
	サービス活動収益計(1)	198,480,001	88,000	74,376,387	71,196,483	52,819,131	
	費用	人件費	103,463,914		37,826,049	39,587,444	26,050,421
		事業費	13,873,703		7,030,668	4,436,046	2,406,989
		事務費	20,223,198	477,648	5,263,643	8,252,653	6,229,254
		就労支援事業費用	36,591,247		12,960,090	14,166,226	9,464,931
		利用者負担軽減額	217,236		136,916	29,940	50,380
		減価償却費	9,792,661	23,100	7,654,398	1,065,017	1,050,146
国庫補助金等特別積立金取崩額		-4,684,104		-4,684,104			
サービス活動費用計(2)		179,477,855	500,748	66,187,660	67,537,326	45,252,121	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	19,002,146	-412,748	8,188,727	3,659,157	7,567,010		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	34,320		34,320		
		受取利息配当金収益	25,173	4,566	9,587	7,331	3,689
		その他のサービス活動外収益	1,465,773	495,337	372,802	261,010	336,624
	サービス活動外収益計(4)	1,525,266	499,903	416,709	268,341	340,313	
	費用	支払利息	34,320		34,320		
その他のサービス活動外費用	123,154		1,200	35,516	86,438		
サービス活動外費用計(5)	157,474	0	35,520	35,516	86,438		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,367,792	499,903	381,189	232,825	253,875		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	20,369,938	87,155	8,569,916	3,891,982	7,820,885		
特別増減の部	収益	施設整備等寄付金収益	600,000		600,000		
		特別収益計(8)	600,000	0	600,000	0	0
	費用	固定資産売却損・処分損	7		7		
		特別費用計(9)	7	0	7	0	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)	599,993	0	599,993	0	0		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	20,969,931	87,155	9,169,909	3,891,982	7,820,885		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	129,261,428	2,583,879	51,894,511	51,159,136	23,623,902	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	150,231,359	2,671,034	61,064,420	55,051,118	31,444,787	
	基本金取崩額(14)	0					
	その他の積立金取崩額(15)	0					
	その他の積立金積立額(16)	600,000		600,000			
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	149,631,359	2,671,034	60,464,420	55,051,118	31,444,787		